

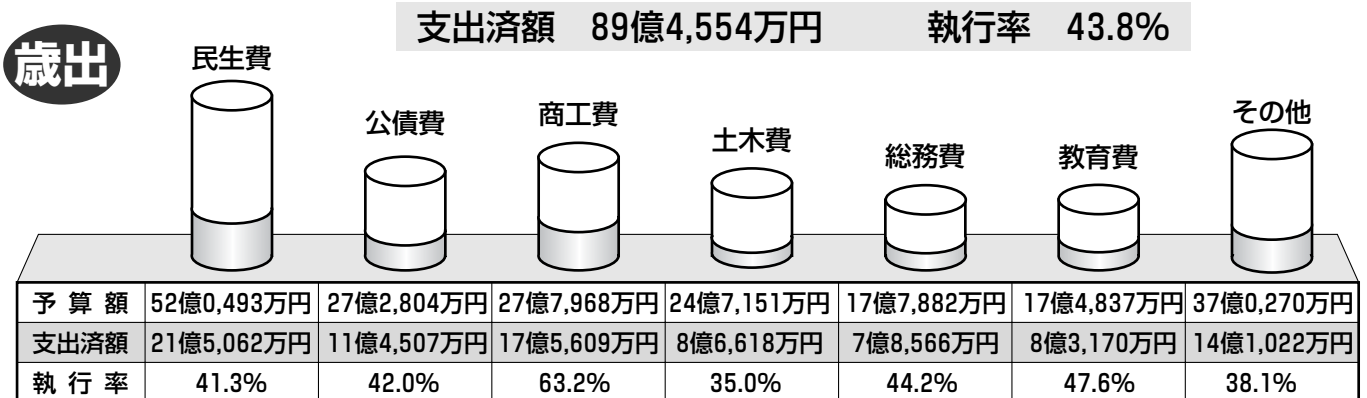
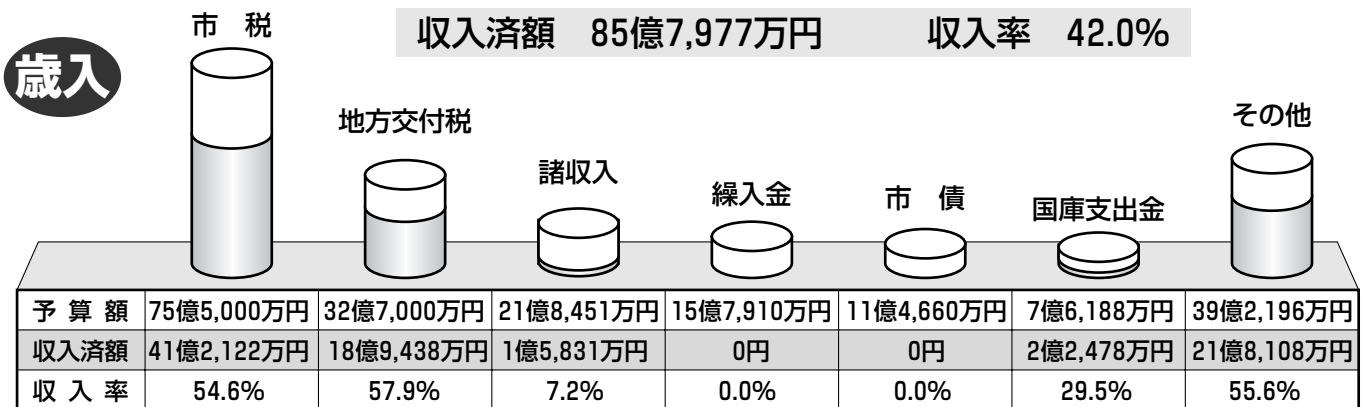
らせします

市では、年2回財政状況を公表しています。
市民税などの市税、国から交付される地方交付税などをもとに予算をたて、よりよい市民生活を目指してさまざまな事業を行っています。みなさんの税金がどのように使われているかご覧ください。

◆ご不明な点は…
財政課（内線1531）

一般会計

予算額 204億1,405万円



一般会計

平成18年度上半期の一般会計は、5月の第1号から9月の第6号まで6回の補正が行われ、補正額は13億9105万円となりました。その主な内容は、7月豪雨災害に伴う災害復旧・復興に要する経費13億8544万円となっています。

この結果、今期末予算額は204億1405万円となり、前年度同期215億0437万円と比較して10億9032万円の減となっています。また5年前の平成13年度と比較すると75%の減になります。

◆歳入

予算額に対する収入割合は42.0%で、前年度同期の43.4%と比較して1.4ポイントの減、収入済額は7億5628万円の減となっています。

予算額の款別構成比率は、市税が最も大きく37.0%を占め、地方交付税16.0%、諸収入10.7%がこれに続いて大きな割合を占めています。

◆歳出

予算額に対する支出割合は43.8%で、前年度同期の46.3%と比較して2.5ポイントの減、支出済額は10億1755万円の減となっています。

平成18年度 上半期

(平成18年9月30日現在)

市の財政状況をお知

特別会計

| 会計名 | 予算額 | 収入額 | 収入率 | 支出済額 | 執行率 |
|----------|-------------|------------|--------|------------|-------|
| 国民健康保険事業 | 48億5,700万円 | 17億6,134万円 | 36.3% | 17億6,042万円 | 36.2% |
| 地域開発事業 | 7億6,090万円 | 2,198万円 | 2.9% | 4億2,569万円 | 55.9% |
| 分収造林事業 | 2,260万円 | 314万円 | 13.9% | 307万円 | 13.6% |
| 霊園事業 | 2,191万円 | 3,003万円 | 137.1% | 746万円 | 34.1% |
| 老人保健事業 | 55億2,801万円 | 24億0,278万円 | 43.5% | 23億4,496万円 | 42.4% |
| 温泉事業 | 2,340万円 | 1,905万円 | 81.4% | 674万円 | 28.8% |
| 訪問看護事業 | 4,040万円 | 4,397万円 | 108.8% | 1,501万円 | 37.2% |
| 合計 | 112億5,422万円 | 42億8,229万円 | 38.1% | 45億6,335万円 | 40.5% |

財産と借入れ

| | | |
|------|--------|-------------|
| 市の財産 | 土地 | 87万8,889㎡ |
| | 建物 | 26万4,584㎡ |
| | 基金等 | 63億7,851万円 |
| | 有価証券 | 3,060万円 |
| 市の借金 | 市債(累計) | 257億5,200万円 |
| | 一時借入等 | 11億5,575万円 |

(企業会計・特別会計を除く)

企業会計

| 会計名 | 収入 | | 支出 | | |
|-------|-------|------------|------------|------------|------------|
| | 予算額 | 収入調定額 | 予算額 | 支出済額 | |
| 病院事業 | 収益的収支 | 90億0,700万円 | 39億2,743万円 | 90億0,700万円 | 39億2,648万円 |
| | 資本的収支 | 3億3,152万円 | 5,520万円 | 4億0,442万円 | 1億7,280万円 |
| 水道事業 | 収益的収支 | 10億0,230万円 | 4億8,722万円 | 9億8,184万円 | 4億1,446万円 |
| | 資本的収支 | 201万円 | 0円 | 5億7,031万円 | 1億8,271万円 |
| 下水道事業 | 収益的収支 | 17億5,403万円 | 8億9,801万円 | 17億5,181万円 | 8億1,812万円 |
| | 資本的収支 | 4億9,348万円 | 2,142万円 | 12億3,519万円 | 5億1,216万円 |

予算額の款別構成比率は、民生費が25・4%を占め、以下商工費13・6%、公債費13・4%、土木費12・1%と続いています。

特別会計

上半期は、霊園事業の7月豪雨災害の復旧に要する経費771万円、老人保健事業の医療費支払基金等の返還に要する経費等4602万円が補正されました。

計画行政で健全な 財政運営を

平成18年度の上半期の財政事情については、国の三位一体改革による地方交付税等の縮減の影響などから一層厳しさを増し、今後の見通しは予断を許さない状況にあります。さらに、7月19日に発生した平成18年7月豪雨災害は、市民の財産に大きな被害を及ぼし、災害の復旧・復興には莫大な経費を要し、また今後起こりうる有事に備え、財源の確保も早急に必要になっていきます。

今後とも徹底した経費の節減と効率的な行政運営のもとに健全財政の堅持を保持しつつ、災害に強いまちづくりを進めるとともに、一層多様化する市民要望の実現と福祉の向上に努めていきます。